

各医療機関 御中

在宅医療・介護連携に関する実態調査の実施について (依頼)

令和 7 年●月●日

静岡市地域包括ケア推進課

平素より本市の地域包括ケア推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市では、在宅医療・介護の体制整備や多職種連携の強化に向けた取り組みを進めており、その一環として、地域における実態を把握し、今後の施策の検討資料とするため、医療機関及び介護事業所等を対象とした表記調査を実施いたします。本調査は定期的実施しており (前回調査：令和 4 年度)、今回も継続的な実態把握の一環として行うものです。

つきましては、大変お忙しい中恐縮ではございますが、趣旨をご理解のうえ、次頁以降の調査票にご記入いただき、下記期限までにご提出ください。なお、本調査は匿名で実施し、回答機関名が特定されることはございません。

記

- 1 調査対象機関 **病院、医科診療所 (有床・無床)**
 ※令和 7 年●月●日時点の情報を基に送付しておりますが、在宅医療と直接関係がないと思われる診療科、休院中の医療機関等にも送付されている可能性があります。それらの場合には、本状は破棄いただき、ご対応は不要です。
 ※以下の機関には別様式の調査票を送付しております。
 歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、定期巡回・随時対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、訪問リハビリテーション、訪問介護、訪問入浴介護、居宅介護支援事業所、通所リハビリテーション、通所介護 (認知症対応型含む)
- 2 提出期限 令和 7 年 9 月 30 日 (火) ※予定
- 3 提出方法 別添の返信用封筒に封入してください。
 ※オンラインでの回答をご希望の場合は、以下の URL よりご入力いただき、本状は破棄してください。
 URL : ●●●●●●●●
- 4 その他
 - ・調査票は手入力で集計するため、多少の汚損等は支障ございません。
 - ・調査票や返信用封筒の再送が必要な場合は、ご連絡ください。
 - ・市 HP にも調査概要や調査票データを掲載しています。
 URL : ●●●●●●●●
 - ・調査結果は令和 8 年 3 月末までに市 HP (上記 URL) に掲載予定です。
 - ・本調査は任意であり、無理のない範囲でご協力ください。
- 5 お問い合わせ先 静岡市 地域包括ケア推進課 在宅医療・介護連携係 橋本・平川
 電話 : 054-221-1576 (直通) メール : chiikikea@city.shizuoka.lg.jp
 住所 : 〒静岡市葵区追手町 5 番 1 号 静岡庁舎新館 14 階

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和7年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴機関の属性について

問 1 貴機関の所在地が属する包括圏域を選択してください。【1つ選択】

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
12	藁科	中藁科、清沢、大川	
駿河区	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
	19	丸子	長田北、長田西
清水区	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	両河内	両河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問 2 貴機関における職種別の従事者数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種 1 つに記入してください。

※常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 看護師	() 人	() 人
⑤ 准看護師	() 人	() 人
⑥ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑦ 理学療法士	() 人	() 人
⑧ 作業療法士	() 人	() 人
⑨ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑩ 栄養士	() 人	() 人
⑪ 社会福祉士	() 人	() 人
⑫ 介護福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護職員	() 人	() 人
⑭ 事務職	() 人	() 人
⑮ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問 3 貴機関の種別を選択してください。【1つ選択】

※複数の機関を併設している場合は、この調査票の送付文に表示された、調査対象としての機関の種別を回答してください。

1 病院	→問 5 へ
2 医科診療所 (有床)	→問 4 へ
3 医科診療所 (無床)	→問 4 へ

問3で「2 医科診療所(有床)」「3 医科診療所(無床)」を選択した機関のみ回答してください。

問4 貴機関の主たる診療科を選択してください。【1つ選択】

※複数の診療科を標榜されている場合は、最も患者数の多い診療科を選んでください。

1 内科	2 リハビリテーション科	3 整形外科
4 外科	5 アレルギー科	6 眼科
7 皮膚科	8 耳鼻科	9 その他 ()

在宅医療について

問5 在宅医療(訪問診療や往診等)を実施していますか。【1つ選択】

※訪問診療：定期的な訪問による診療

※往診：必要時の(不定期な)訪問による診療

1 実施している	→問6へ
2 現在は実施していないが、5年以内に取り組む意向がある	→問16へ
3 現在は実施していない。取り組む意向はあるが実施は難しい	→問16へ
4 取り組む意向はない	→問16へ

問5で「1 実施している」と答えた機関のみ回答してください。(問15まで)

問6 在宅医療をどのように実施していますか。【1つ選択】

1 自院のみで実施している
2 基本的には自院のみで実施するが、他院と協力する場合もある
3 いつも他院と協力して実施している
4 その他 ()

問7 実施している在宅医療関連の事業を選択してください。【複数選択可】

1 訪問診療	2 往診
3 訪問薬剤管理指導	4 訪問看護(みなし訪問看護含む)
5 訪問リハビリテーション	6 訪問栄養・食事指導
7 その他 ()	
()	
()	

問 8 最近 (直近 3 か月程度) に、新たに在宅医療を開始した患者の紹介元について、特に多いと感じるものを上位 3 つまでお選びください。

※新規患者が少ない場合は、直近 1 年等の範囲でも構いません。

1	病院
2	医科診療所 (有床)
3	医科診療所 (無床)
4	歯科診療所
5	薬局
6	訪問看護ステーション
7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
8	看護小規模多機能型居宅介護事業所
9	居宅介護支援事業所
10	訪問介護事業所
11	通所介護事業所
12	訪問入浴介護事業所
13	訪問リハビリテーション事業所
14	通所リハビリテーション事業所
15	地域包括支援センター
16	行政機関
17	本人・家族
18	民生委員等
19	その他 ()

問9 訪問による診療等を行った疾患別、場所別の患者数を記載してください。

※令和7年5月1日～7月31日の3か月間

	1 訪問診療 (人)	2 往診 (人)	3 訪問薬剤管理指導 (人)	4 訪問看護(みなし看護含む) (人)	5 訪問リハビリテーション (人)	6 訪問栄養・食事指導 (人)	7 その他 (人)	(人)	(人)
(1) (疾患別) 患者数									
① 患者数 (実数)									
うち、がん患者数									
② 患者数 (延べ数)									
うち、がん患者数									
(2) 訪問場所別患者数 (実数)									
① 自宅									
② 特別養護老人ホーム									
③ 有料老人ホーム									
④ サービス付高齢者住宅									
⑤ 軽費老人ホーム (ケアハウス)									
⑥ グループホーム									
⑦ その他 ()									
(3) 令和6年8月1日～令和7年7月31日までの1年間における患者数 (実数)									
① 看取り患者数 (実数)	() 人								
② 上記①のうち、がん患者数 (実数)	() 人								

問 10 対象範囲 (移動距離) を定めていますか。【1つ選択】

- 1 決めている ⇒ 【静岡市内及び市外 ・ 市内 ・ 区内 ・ その他 ()】
 2 特に決めていない

問 11 対象とする疾患を決めていますか。【複数選択可】

※令和 7 年 5 月 1 日～ 7 月 31 日の 3 か月間

- | | |
|----------|---------------|
| 1 がん | 2 糖尿病 |
| 3 高血圧性疾患 | 4 虚血性心疾患 |
| 5 脳血管疾患 | 6 認知症 |
| 7 神経難病 | 8 慢性呼吸不全 |
| 9 消化器疾患 | 10 泌尿器系疾患 |
| 11 肝臓疾患 | 12 腎疾患 (透析含む) |
| 13 骨折 | 14 脊髄損傷 |
| 15 終末期 | 16 在宅における看取り |
| 17 口腔疾患 | 18 その他 () |

問 12 対応する時間帯を決めていますか。【1つ選択】

- 1 決めている ⇒ さらに①～⑤を選んでください。
 ① 24 時間いつでも対応
 ② 診療時間内のみ対応
 ③ 診療時間外のみ対応
 ④ 曜日や時間を決めて対応
 ⇒ 【曜日】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日
 【時間】 () 時 () 分～ () 時 () 分
 ⑤ その他 ()
 2 決めていない

問 13 対応可能な処置を選択してください。【複数選択可】

1 経管栄養療法 (胃ろう・腸ろう・経鼻カテーテル)	2 在宅酸素療法
3 在宅注射療法 (IVH・点滴注射・自己注射)	4 在宅腹膜灌流
5 人工呼吸器の管理	6 気管切開の処置
7 膀胱カテーテルの留置・導尿	8 人工肛門 (ストーマケア)・人工膀胱
9 看取り (の処置)	10 がん末期の疼痛管理
11 がん末期以外の疼痛等の管理	12 リハビリテーション
13 褥瘡処置・皮膚処置	14 吸入・吸引
15 浣腸・摘便	16 人工透析
17 歯科医療・口腔ケア (自費を含む)	18 歯周病治療
19 むし歯の治療	20 抜歯等の処置
21 義歯関係処置 (自費を含む)	22 フッ素塗布
23 服薬管理・点眼指導	24 麻薬の取扱い
25 認知症患者の対応	26 その他 ()

問 14 在宅医療提供の終了理由ごとに、患者数を記入してください。

※令和 7 年 5 月 1 日～7 月 31 日の 3 か月間

	終了患者の状況	患者数 (実数)
①	患者の死亡	() 人
③	患者の入院 (他医療機関への転院も含む)	() 人
④	施設への入所	() 人
⑤	サービス付高齢者住宅への入居	() 人
⑥	引っ越し、転出	() 人
⑦	病状軽快	() 人
⑧	家族・親族等からの申し出	() 人
⑨	その他 ()	() 人

問 15 今後現在の体制を維持した場合、訪問患者数を増やすことが可能ですか。【1 つ選択】

1 患者数を増やすことが可能 ⇒ (1 か月当たり) 人程度)
2 患者数を増やすことはできるが、現状を維持したい
3 患者数を増やすことはできない
4 わからない
5 その他 ()

→問 18 へ

問 5 で、2～4 のいずれかを選択した機関のみ回答してください。

問 16 在宅医療を実施していない理由を選択してください。【複数回答可】

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 実施するためのスタッフがいない | 2 患者からのニーズがない |
| 3 採算が取れない | 4 必要性を感じない |
| 5 関心がない | 6 時間が確保できない |
| 7 専門領域以外の対応が困難 | 8 経験がない・不足している |
| 9 書類作成や制度対応などの負担が大きい | 10 患者や家族対応などの負担が大きい |
| 11 移動や訪問などの体力的な負担が大きい | 11 その他 () |

問 17 在宅医療を開始するために必要なことを選択してください。【複数回答可】

- | |
|---|
| 1 指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる (在宅医療を実施している医師等) |
| 2 チームで実施できる体制を整える |
| 3 研修や体験の機会 |
| 4 病状悪化時等に入院できる受入先の確保 |
| 5 その他 () |

地域ケア会議について

問 18 地域ケア会議※の認知及び参加経験について選択してください。

※地域包括支援センターが、圏域ごとの地区課題解決のため関係機関を招集し行われる。

※令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日の 1 年間

- | |
|----------------------------------|
| 1 会議について知っており、参加要請がある |
| 2 会議について知っており、参加要請に応じ参加したことがある |
| 3 会議について知っているが、参加要請はない |
| 4 会議について知っているが、参加したいと思わない |
| 5 会議について知らないが、参加要請があれば参加したい |
| 6 会議について知らないし、参加要請もない |
| 7 会議について知らないし、参加要請もなく、参加したいと思わない |

問 19 次に掲載する関係機関とのおおよその連携件数を記入し、主観的な理由を選択してください。

【複数選択可】

		(記入例)	病院	医科診療所 (有床)	医科診療所 (無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関	
連携がうまくいっている事業所数		7																		
その理由	1.常に情報が行きかかっている																			
	2.信頼関係が築けている	○																		
	3.先方の業務を理解できている																			
	4.必要時に連絡が取り合える																			
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																			
	6.親切で配慮がある	○																		
	7.過去の実績がある																			
	8.その他 ()																			
連携がうまくいっていない事業所数		2																		
その理由	1.情報が来ない																			
	2.信頼性に欠ける																			
	3.顔の見える関係ができていない	○																		
	4.連携の必要性を理解されない																			
	5.連絡がとりづらい																			
	6.対応が遅い、または動かない																			
	7.親切でない																			
	8.過去に問題が生じた																			
	9.その他 ()																			

問 20 医療・介護連携が全体としてうまくいっていると思いますか。【1つ選択】

- | | | |
|---|--------------|---------|
| 1 | うまくいっている | →問 22 へ |
| 2 | まあまあうまくいっている | →問 22 へ |
| 3 | あまりうまくいっていない | →問 21 へ |
| 4 | うまくいっていない | →問 21 へ |
| 5 | わからない | →問 22 へ |

問 20 で、「3 あまりうまくいっていない」「4 うまくいっていない」と答えた機関のみ回答してください。

問 21 医療・介護連携でうまくいっていないと思う理由を選択してください。【複数選択可】

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 他の職種と顔の見える関係が作れていない |
| 2 | 他の職種の業務内容が共有できていない |
| 3 | 情報交換する会議などの機会がない |
| 4 | 情報交換する時間がない |
| 5 | 病変の急変時における連携体制が不十分 |
| 6 | 人材が育成されていない |
| 7 | どこの機関が主導してくれるかはっきりしていない |
| 8 | 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい |
| 9 | 関係職種に連携の必要性が理解されていない |
| 10 | 情報交換する方法がわからない |
| 11 | 必要な研修を受講する機会がない |
| 12 | 同居家族や支援者が少なく、在宅療養が困難 |
| 13 | 在宅療養を担う専門職等の資源が不足しているため |
| 14 | 地域全体で在宅療養に対する理解や関心が低い |
| 15 | その他 () |

問 22 在宅医療と介護の連携の推進において、この3年間で進展があった事項と今後必要な事項を選択してください。【複数選択可】

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ（地域ケア会議の開催等）		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得（研修会等の開催）		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携パスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他 ()		

問 23 従事者の資質向上のために取り組んでいる内容を選択してください。【複数選択可】

1 貴機関内での研修や勉強会の実施
2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加
3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供
4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査
5 資格取得のための支援制度の整備
6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入
7 機関として地域づくりへの貢献の意識向上
8 その他 ()

終末期医療について

問 24 終末期の患者の在宅医療に対応していますか。【1つ選択】

1 対応している	→問 26 へ
2 対応していない	→問 25 へ

問 24 で、「2 対応していない」と答えた機関のみ回答してください。

問 25 対応していない理由を選択してください。【複数選択可】

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 24 時間の体制がとれない |
| 2 | 対応できる技術・知識がない |
| 3 | 終末期の方に限らず、訪問対応はしていない |
| 4 | その他 () |

問 26 終末期医療等における在宅対応の限界に対するお考えを選択してください。【1つ選択】

- | | | |
|---|----------------------------------|---------|
| 1 | 終末期医療等は在宅で行うのは困難と考えている | →問 27 へ |
| 2 | 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである | →問 28 へ |
| 3 | 可能な限り在宅で行いたいが、単独では難しい | →問 28 へ |
| 4 | 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである | →問 28 へ |
| 5 | その他 () | →問 28 へ |

問 26 で、「1 終末期医療等は在宅で行うのは困難と考えている」と答えた機関のみ回答してください。

問 27 その理由を選択してください。【複数選択可】

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 患者本人や家族にその意向がない |
| 2 | 介護する家族等に十分な知識がない |
| 3 | 終末期の病状に対応する設備が不十分である |
| 4 | 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある |
| 5 | 対応できるチーム体制が整っていない |
| 6 | その他 () |

問 28 看取る家族がいない独居高齢者の増加が見込まれる中で、地域において優先的に取り組むべきとお考えの事項について選択してください。【複数選択可】

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 看取りや声掛け等、日常生活を支える地域支援体制の整備 |
| 2 | 在宅看取りが可能な施設（有料老人ホーム等）の整備 |
| 3 | 死後対応も含めた多職種の連携体制の構築 |
| 4 | 地域全体で ACP を進める取組 |
| 5 | 自治体や専門職による死後事務支援の体制整備 |
| 6 | その他 () |

問 29 「在宅療養支援診療所・病院」の届出について選択してください。【1つ選択】

- | | | |
|---|------------------|---------|
| 1 | 届出済(平成・令和 年 月 日) | →問 31 へ |
| 2 | 届出予定あり(令和 年 月 日) | →問 31 へ |
| 3 | 令和7年度中に届出したい | →問 31 へ |
| 4 | ここ2～3年以内に届出したい | →問 31 へ |
| 5 | 届出をする予定はない | →問 30 へ |

問 29 で「5 届出をする予定はない」と答えた機関のみ回答してください。

問 30 届出をしない理由を選択してください。【複数選択可】

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 24時間対応可能な体制を維持できない |
| 2 | 訪問看護との連携ができない |
| 3 | 診療内容上必要がない |
| 4 | 終末期医療のことを考えると責任が持てない |
| 5 | 在宅療養患者の緊急入院を受け入れる体制を確保できない |
| 6 | ケアマネジャーとの連携が難しい |
| 7 | スタッフが確保できない |
| 8 | 協力、連携できる医療機関を確保できない(機能強化型) |
| 9 | そういう届出を知らない、または届出方法がわからない |
| 10 | その他 () |

ACP (人生会議) について

問 31 患者・家族に対して ACP (人生会議) を実施していますか。【1つ選択】

- | | | |
|---|---------|---------|
| 1 | 実施している | →問 33 へ |
| 2 | 実施していない | →問 32 へ |

問 31 で、「2 実施していない」と答えた機関のみ回答してください。

問 32 実施していない理由を選択してください。【複数選択可】

- | | | | |
|---|-----------------|---|---------------|
| 1 | 話し合いのためのノウハウがない | 2 | 話し合う余裕がない |
| 3 | 話を切り出すことに抵抗を感じる | 4 | 話し合うきっかけがなかった |
| 5 | 話し合う必要性を感じていない | 6 | 対象となる患者がいない |
| 7 | その他 () | | |

問 33 ACP (人生会議) の推進に必要と考える取組を選択してください。【複数選択可】

- 1 貴機関内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加
- 3 ACP (人生会議) を実施するためのツール (パンフレット等)
- 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備
- 5 エンディングノートの利活用
- 6 その他 ()

問 34 静岡市が作成しているエンディングノートについて、該当するものを選択してください。

【複数選択可】

- 1 市民向けの周知や配布を強化してほしい
- 2 内容がわかりやすく、使いやすい
- 3 記載内容を充実してほしい項目がある (具体的な項目:)
- 4 修正してほしい項目がある (具体的な項目:)
- 5 書き方が分かりづらく、活用しにくい
- 6 市販されているエンディングノートもあり、市独自で作成する必要はない
- 7 市がエンディングノートを作成していることを知らなかった
- 8 作成していることは知っているが、内容は把握していない
- 9 その他 ()

介護予防について

問 35 地域における介護予防への関わり の現状について、あてはまるものを選択してください。

【複数選択可】

- 1 自院で、住民向けの講義・講座や保健指導などを行っている →問 37 へ
- 2 地域や行政からの依頼を受けて、住民向けの講義・講座や保健指導を行っている →問 37 へ
- 3 自院でポスターやチラシを作成し、健康増進の普及啓発をしている →問 37 へ
- 4 健診をしている →問 37 へ
- 5 特に取組んでいない →問 36 へ
- 6 その他 () →問 37 へ

問 35 で、「5 特に取組んでいない」と答えた機関のみ回答してください。

問 36 取組んでいない理由について、該当するものを選択してください。【複数選択可】

- 1 対応できる技術・知識がない
- 2 時間がない等調整がつかない
- 3 その他 ()

問 37 地域住民からの介護予防についての要請について、あてはまるものを選択してください。

【1つ選択】

1 要請が多い
2 要請がある
3 要請は少ない
3 要請がない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問 38 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されていることを知っていますか。

【1つ選択】

1 知っている	2 知らない
---------	--------

情報共有ツールについて

問 39 医科診療所、訪問看護、ケアマネジャーとの情報共有において、最も使用しているツールを情報共有先ごとに選択してください。【1つ選択】

情報共有先	ICTシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
訪問看護							
ケアマネジャー							

問 40 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。【自由記述】

質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和7年9月30日(火)までに、ご返送ください。